

学 会 发 表

Themes Presented at Conferences and Society Meetings

(2008.4-2009.3)

学会発表等

＜一般学会＞

(代表執筆者(先頭に氏名を記載)が所外研究者の場合は、当該研究の共同研究者となっている所内研究者にアンダーラインを付した。)

〔微生物〕

小西典子, 尾畑浩魅, 下島優香子, 門間千枝, 仲真晶子, 甲斐明美, 矢野一好: サルモネラ血清型 *Infantis* における薬剤耐性菌出現状況, 第 82 回日本感染症学会総会(島根), 2008.

門間千枝, 柴田幹良, 下島優香子, 小西典子, 尾畑浩魅, 高橋正樹, 横山敬子, 仲真晶子, 甲斐明美, 柳川義勢, 矢野一好: ノロウイルス集団感染症発生時に高率に検出されたエンテロトキシン産生性ウエルシュ菌について, 第 82 回日本感染症学会総会(島根), 2008.

尾畑浩魅, 下島優香子, 小西典子, 上原さとみ, 門間千枝, 仲真晶子, 甲斐明美, 矢野一好: 東京都内で発生した「いかの塩辛」を原因とした腸炎ビブリオ食中毒事例, 第 42 回腸炎ビブリオシンポジウム(富山), 2008.

山崎貢, 青木日出美, 松本昌門, 平松礼司, 遠山明人, 池川敬, 森下高行, 長谷川敏博, 八柳潤, 加藤美和子, 尾畑浩魅, 本庄峰夫, 岩出義人, 福島博, 緒方喜久代, 犬塚和久, 熊谷則道, 一戸邦彦, 荒川英二, 伊藤健一郎, 皆川洋子: *Vibrio parahaemolyticus* 耐熱性溶血毒類似毒(*trh*)遺伝子の垂型分布について, 第 42 回腸炎ビブリオシンポジウム(富山), 2008.

下島優香子, 尾畑浩魅, 小西典子, 上原さとみ, 門間千枝, 甲斐明美, 矢野一好: Ethidium Monoazide を用いた腸炎ビブリオ生菌と死菌の識別法の検討, 第 42 回腸炎ビブリオシンポジウム(富山), 2008.

尾畑浩魅, 下島優香子, 小西典子, 上原さとみ, 門間千枝, 仲真晶子, 甲斐明美, 矢野一好: 「いかの塩辛」を原因とした腸炎ビブリオ食中毒事例, 第 29 回日本食品微生物学会学術総会(広島), 2008.

門間千枝, 金子誠二, 上原さとみ, 下島優香子, 小西典子, 尾畑浩魅, 甲斐明美, 矢野一好, 柳川義勢: エンテロトキシン産生性ウエルシュ菌の *cpe* 遺伝子の存在部位について, 第 29 回日本食品微生物学会総会(広島), 2008.

金子誠二, 井田美樹, 柴田幹良, 平井昭彦, 加藤玲, 甲斐明美, 矢野一好: 食肉における Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* および *Clostridium difficile* の分布, 第

29 回日本食品微生物学会学術総会(広島), 2008.

横山敬子: シンポジウム、国内におけるカンピロバクター食中毒の動向と疫学解析、第 1 回日本カンピロバクター研究会総会(東京), 2008.

千葉隆司, 貞升健志, 和宇慶朝昭, 高橋由美, 甲斐明美, 矢野一好, 諸角聖: アフラトキシン産生菌検出のための分子系統樹解析とマルチプレック PCR 法の開発, 第 95 回日本食品衛生学会学術講演会(東京), 2008.

千葉隆司, 和宇慶朝昭, 田端節子, 水取敦子, 薩埵真二, 池内容子, 高橋由美, 飯田憲司, 田崎達明, 服部大, 甲斐明美, 矢野一好: 輸送温度モデルを用いたアフラトキシン産生性の比較検討, 日本食品保蔵学会 57 回大会(島根), 2008.

千葉隆司, 貞升健志, 和宇慶朝昭, 高橋由美, 甲斐明美, 矢野一好, 諸角聖: 分子生物学的手法によるアフラトキシン産生菌検出法の検討, 第 34 回カビ毒研究連絡会(静岡), 2008.

門間千枝, 金子誠二, 柴田幹良, 上原さとみ, 下島優香子, 小西典子, 尾畑浩魅, 新井輝義, 甲斐明美, 矢野一好: 高齢者施設における下痢症から分離されたエンテロトキシン産生性ウエルシュ菌の特徴, 第 39 回日本嫌気性菌感染症研究会(岐阜), 2009.

門間千枝, 金子誠二, 尾畑浩魅, 小西典子, 下島優香子, 甲斐明美, 柳川義勢, 伊藤武: 東京都内のボツリヌス症患者及び食品から分離された A 型ボツリヌス菌の性状について, 第 82 回日本細菌学会総会(名古屋), 2009.

嶋智子, 磯部順子, 木全恵子, 唐沢忠明, 山岸高由, 芹川俊彦, 松本昌門, 門間千枝, 綿引正則: 食中毒由来ウエルシュ菌の PFGE および MLST による遺伝子解析, 第 82 回日本細菌学会総会(名古屋), 2009.

河村真保, 横山敬子, 高橋正樹, 柴田幹良, 松下秀, 甲斐明美, 矢野一好: 2007 年分離赤痢菌の菌種・血清型と薬剤耐性, 第 48 回感染性腸炎研究会総会(東京), 2009.

甲斐明美: シンポジウム「細菌検査の現状と問題点について」腸管系病原菌の分離と同定検査, 第 48 回感染性腸炎研究会総会(東京), 2009.

畠山薫, 内谷友美, 奥野ルミ, 小西典子, 高橋正樹, 横山敬子, 門間千枝, 貞升健志, 保坂三継, 甲斐明美: ふれあい動物施設における人と動物の共通感染症対策, 第 8 回人と動物の共通感染症研究会(東京), 2008.

内谷友美, 奥野ルミ, 畠山薫, 保坂三継, 矢野一好: 食品からの溶連菌検出方法の検討, 第 29 回日本食品微生物学会学術総会 (広島), 2008.

貞升健志, 長島真美, 新開敬行, 尾形和恵, 原田幸子, 仲真晶子, 矢野一好: 2005~2008 年の東京都内保健所等 HIV 検査陽性例の薬剤耐性変異の解析, 第 22 回日本エイズ学会学術集会・総会 (大阪), 2008.

杉浦互, 湯永博之, 吉田繁, 千葉仁志, 小池隆夫, 伊藤俊広, 原孝, 佐藤武幸, 石ヶ坪良明, 上田敦久, 近藤真規子, 今井光信, 貞升健志, 長島真美, 福武勝幸, 山元泰之, 田中理恵, 加藤真吾, 宮崎菜穂子, 藤井毅, 岩本愛吉, 藤野真之, 仲宗根正, 巽正志, 椎野禎一郎, 岡慎一, 林田庸総, 服部純子, 伊部史郎, 藤崎誠一郎, 金田次弘, 浜口元洋, 上田幹夫, 大家正義, 田邊嘉也, 渡辺香奈子, 渡邊大, 白坂琢磨, 栗原健, 森治代, 小島洋子, 高田昇, 木村昭郎, 南留美, 山本政弘, 松下修三, 健山正男, 藤田次郎: 2003~2007 年の新規 HIV 感染者における薬剤耐性頻度の動向, 第 22 回日本エイズ学会学術集会・総会 (大阪), 2008.

椎野禎一郎, 貞升健志, 長島真美, 杉浦互: HIV-1 薬剤耐性変異の感染者集団における固定/消失時間の解析, 第 22 回日本エイズ学会学術集会・総会 (大阪), 2008.

長島真美, 新開敬行, 尾形和恵, 原田幸子, 貞升健志, 仲真晶子, 矢野一好: BED assay を使用した東京都内保健所等における HIV 検査陽性例の血清学的解析, 第 22 回日本エイズ学会学術集会・総会 (大阪), 2008.

村田理恵, 鈴木淳, 柳川義勢, 保坂三継: 寄生虫が原因と疑われた食品関連苦情事例について, 第 19 回日本臨床寄生虫学会 (京都), 2008.

森功次, 大貫文, 狩野文雄, 林志直, 貞升健志, 永野美由紀, 秋場哲哉, 野口やよい, 仲真晶子, 矢口久美子, 白澤浩, 矢野一好: Norovirus の塵埃感染に関する基礎的検討—チャンパー内に噴霧したウイルス液の時間経過にともなう粒子径分布と滞留状況及び床材からの飛散について—, 第 56 回日本ウイルス学会学術集会 (岡山), 2008.

[医薬品]

鈴木仁, 高橋美佐子, 長嶋真知子, 瀬戸隆子, 森謙一郎, 荻野周三: 東京都における違法ドラッグ成分の分析, 第 21 回バイオメディカル分析科学シンポジウム (札幌), 2008.

鈴木仁, 高橋美佐子, 長嶋真知子, 瀬戸隆子, 森謙一郎, 荻野周三: GC/MS 及び NMR を用いた違法ドラッグ中の亜硝酸エステル分析, 第 21 回バイオメディカル分析科学シンポジウム (札幌), 2008.

高橋美佐子, 長嶋真知子, 鈴木仁, 瀬戸隆子, 森謙一郎: LC-PDA と GC-MS によるデザイナードラッグのデータライブラリー作製と適用, 日本法中毒学会第 27 年会 (東京), 2008.

石川寛, 福田達男, 小林義典, 伊藤智夫, 鈴木幸子, 北川重美: 日本産および中国産クララの地下茎に見られる生態的二型, 日本生薬学会第 55 回年会 (長崎), 2008.

小野恭司, 水石和子, 浜野朋子, 荻野周三: 有機スズ化合物による都内流通魚介類の汚染実態 (2002~2007 年度), 平成 20 年度化学物質の環境リスクに関する国際シンポジウム (東京), 2008.

水石和子, 浜野朋子: PCB, 塩素化合物と有機スズ化合物の一斉分析, 日本分析化学会第 57 年会 (福岡), 2008.

山田直樹, 田中裕子, 野口俊久, 山崎守義, 芝野ゆう, 根岸良市, 前川恵: 東京都における毒劇物タンク保有事業者の取扱い・保管状況について, 第 41 回日本薬剤師会学術大会 (宮崎), 2008.

鈴木仁, 高橋美佐子, 長嶋真知子, 瀬戸隆子, 森謙一郎, 荻野周三, 沼田竜市, 宮元礼生奈, 佐々木慎一, 阿部猛: 都内における違法ドラッグの分析, 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

中嶋順一, 荒金眞佐子, 岸本清子, 塩田寛子, 鈴木幸子, 吉澤政夫, 北川重美, 蓑輪佳子, 門井秀郎, 守安貴子, 森謙一郎, 荻野周三: *Mitragyna* 属植物と市販 Kratom 製品の外部形態と成分の関連について, 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

守安貴子, 蓑輪佳子, 門井秀郎, 中嶋順一, 森謙一郎, 荻野周三, 深谷晴彦, 志田保夫: 強壮系健康食品より単離したシルデナフィル類似物質とその安定性について, 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

荒金眞佐子, 佐々木陽平, 中嶋順一, 福森信隆, 吉澤政夫, 鈴木幸子, 北川重美, 森謙一郎, 荻野周三, 安田一郎, 南雲清二: *Lophophora* 属植物の形態、メスカリン含有量及び DNA 配列と鑑別法について, 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

佐々木陽平, 荒金眞佐子, 安田一郎, 南雲清二: LAMP 法による植物の同定及び検出法, 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

福田達男, 石川寛, 小林義典, 石井邦雄, 鈴木幸子, 北川重美: タクシャ基原植物サジオモダカとその類縁植物の形

態について, 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

宮本道子, 寺島潔, 中村義昭, 伊藤弘一, 鈴木淳子, 浜野朋子, 荻野周三: 化粧品に配合される紫外線吸収剤 2,4-ビス-[4-(2-エチルヘキシルオキシ)-2-ヒドロキシ]-フェニル]-6-(4-メトキシフェニル)-1,3,5-トリアジン (BEMT) を含む同時分析法の改良, 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

小野恭司, 宮本道子, 山口敦美, 浜野朋子, 荻野周三: *in vitro* 皮膚感作性試験の検討, 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

【食品】

田端節子, 飯田憲司, 千葉隆司, 和宇慶朝昭, 岩崎由美子, 水取敦子, 薩埵真二, 田崎達明, 服部大, 井部明広: コンテナ輸送における輸入食品のアフラトキシン汚染の可能性, 第 35 回カビ毒研究連絡会 (静岡), 2008.

青山幸二, 中島正博, 堤徹, 法月廣子, 小木曾基樹, 石黒瑛一, 甲斐茂美, 田端節子, 山口茂明, 前田守, 田中敏嗣, 杉山圭一, 伊藤嘉典, 小西良子: 日本に流通する食品中のオクラトキシン A およびフモニシン汚染実態調査 (平成 19 年度), 日本食品衛生学会第 96 回学術講演会 (兵庫), 2008.

安井明子, 大石充男, 早藤知恵子, 小林千種, 新藤哲也, 小沢秀樹, 中里光男: 小麦粉および小麦粉調製品中のアゾジカルボンアミドの分析, 第 95 回日本食品衛生学会学術講演会 (東京), 2008.

小林麻紀, 高野伊知郎, 大塚健治, 田村康宏, 富澤早苗, 酒井奈穂子, 上條恭子, 影山百合子, 永山敏廣: 輸入果実加工品中の残留農薬実態調査, 第 95 回日本食品衛生学会学術講演会 (東京), 2008.

上條恭子, 小林麻紀, 高野伊知郎, 大塚健治, 田村康宏, 富澤早苗, 酒井奈穂子, 影山百合子, 永山敏廣: 輸入野菜加工品中の残留農薬実態調査, 第 95 回日本食品衛生学会学術講演会 (東京), 2008.

立石恭也, 橋本常生, 牛山慶子, 酒井奈穂子, 馬場糸子, 永山敏廣: 蛍光 X 線分析装置を用いた食品中臭素等の簡易分析法, 第 96 回日本食品衛生学会学術講演会 (神戸), 2008.

坂本美穂: 食品分析法の開発と研究懇談会への積極的関与, 第 14 回 LC テクノプラザ (千葉), 2009.

小林千種, 大石充男, 伊藤澄夫, 岸弘子, 佐藤恭子, 杉本敏明, 森曜子, 渡部健二郎, 安田和男: 飲食物試験法・食品添加物試験法 (ズルチン: HPLC による定性・定量及び

LC/MS による定性), 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

都築さやか, 上田豊甫, 中島和雄, 堀江正男, 田口信夫, 中里光男: HPLC による発酵食品中のステビア抽出物の分析, 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

田端節子: 食品中のカビ毒分析における HPLC と LC/MS/MS, 日本分析化学会第 219 回液体クロマトグラフィー研究懇談会 (千葉), 2009.

神眞知子, 磯貝スエ子, 森本敬子, 高野伊知郎, 松下秀: 食品由来大腸菌におけるニューキノロン剤耐性菌および ESBL 産生菌, 第 29 回日本食品微生物学会学術総会 (広島), 2008.

石村紘子, 野田晴子, 佐藤幸子, 佐々木睦美, 太田建爾, 松下秀: 腸管病原菌保菌者検索から検出されたサルモネラの血清型と薬剤耐性, 第 48 回感染性腸炎研究会 (東京), 2009.

【生活環境】

鈴木俊也, 宇佐美美穂子, 保坂三継, 西村哲治, 矢口久美子: 環境水中の有機フッ素化合物の分析法, 第 17 回環境化学討論会 (神戸), 2008.

鈴木俊也, 矢口久美子, 小縣昭夫: 都市河川水中の医薬品の存在実態調査, フォーラム 2008: 衛生薬学・環境トキソロジー (熊本), 2008.

大貫文, 栗田雅行: ノロ代替ウイルスを用いた空気感染経路の検証, 第 67 回日本公衆衛生学会総会 (福岡), 2008.

大貫文, 齋藤育江, 多田宇宏, 福田雅夫, 矢口久美子, 小縣昭夫, 戸高恵美子, 中岡宏子, 森千里: 新築住宅における高濃度化学物質の傾向, 平成 20 年度室内環境学会 (東京), 2008.

戸高恵美子, 齋藤育江, 中岡宏子, 渡辺久美子, 石切山幹雄, 近藤之彦, 田中裕貴, 福原敦志, 穂積正遠, 森千里: ケミレストタウンを利用したシックスクールおよびシックオフィス対応型居室の提案, 第 17 回日本臨床環境医学会 (旭川), 2008.

齋藤育江, 大貫文, 瀬戸博, 矢口久美子, 小縣昭夫: 大気中の硫酸ジメチル、硫酸ジエチル測定法, 第 49 回大気環境学会 (金沢), 2008.

齋藤育江, 大貫文, 矢口久美子, 小縣昭夫, 戸高恵美子, 中岡宏子, 森千里: 新築住宅のペンタン発生源調査, 平成 20 年度室内環境学会 (東京), 2008.

大野正彦, 富岡康浩, 後藤純子: コウモリノミ科 *Nycteridopsylla* 属の1種の採集記録, 日本昆虫学会第68回大会(香川), 2008.

猪又明子, 保坂三継, 泉山信司, 百田隆祥, 大谷喜一郎, 遠藤卓郎: 環境水中の原虫類検出を目的としたLAMP法の検討, 第59回全国水道研究発表会(仙台), 2008.

猪又明子, 千葉隆司, 保坂三継: 水道水から分離した従属栄養細菌の病原因子調査, 日本水処理生物学会第45回大会(秋田), 2008.

矢野一成: 排水槽内の硫化水素の実態について, 第36回建築物環境衛生管理全国大会(東京), 2009.

鈴木俊也, 宇佐美美穂子, 矢口久美子, 小縣昭夫: 河川水中での医薬品の分解性, 日本薬学会第129年会(京都), 2009.

大野正彦: 路上等に出現するミミズ類の季節的消長, 日本生態学会第56回大会(岩手), 2009.

小杉有希, 鈴木俊也, 富士栄聡子, 矢口久美子, 小縣昭夫: ICP-MSによる水中の酸化チタンの分析, 日本薬学会第129年会(京都), 2009.

柄本博, 小杉有希, 小西浩之, 猪又明子, 武藤千恵子, 矢口久美子, 千葉勇人, 大塚幸幸: 小笠原諸島の水道原水の水質, 第43回日本水環境学会年会(山口), 2009.

[生体影響]

中江大, 吉田緑, 前川昭彦: Ogg1 遺伝子欠損によるNNK誘発マウス肺腺系発がんの促進, 第97回日本病理学会総会(金沢), 2008.

田山邦昭, 藤谷知子, 坂本義光, 小縣昭夫, 中江大, 上原眞一: Diethylstilbestrol のマウス新生仔期あるいは成熟期投与による精子障害性の相違, 第35回日本トキシコロジー学会学術年会(東京), 2008.

田中豊人, 高橋省, 大石眞之, 大橋則雄, 中江大, 小縣昭夫: ピペロニルブトキシドの次世代マウスの自発行動に及ぼす影響, 第35回日本トキシコロジー学会学術年会(東京), 2008.

藤谷知子, 小縣昭夫, 中江大, 上原眞一, 高橋博, 矢野範男, 安藤弘, 湯澤勝廣, 久保喜一: ハウスダスト除去を目的とした噴霧型家庭用品のマウスへの経口投与の影響, 第35回日本トキシコロジー学会学術年会(東京), 2008.

山口敦美, 藤谷知子, 小縣昭夫, 中江大, 上原眞一: 農薬であるChlorpropham(CIPC)のICRとBALB/cマウスの免疫系に及ぼす影響, 第35回日本トキシコロジー学会学術年会(東京), 2008.

坂本義光, 福森信隆, 上原眞一, 広瀬明彦, 西村哲治, 前川昭彦, 今井清, 小縣昭夫, 中江大: ラットにおける多層カーボンナノチューブ(MWCNT)の陰嚢腔内投与による中皮腫の誘発, 第35回日本トキシコロジー学会学術年会(東京), 2008.

辰巳公平, 大橋一夫, 民西早苗, 櫻井嘉彦, 中江大, 岡野光夫, 吉岡章, 嶋緑倫: 肝再生と凝固因子・線溶因子, 第15回肝細胞研究会(静岡), 2008.

高橋省, 大橋則雄, 中江大, 小縣昭夫: ラット及びマウスの雄生殖機能に対するパラジクロロベンゼンの影響, 第11回環境ホルモン学会研究発表会(東京), 2008.

中江大, 坂本義光, 前川昭彦, 今井清, 西村哲治, 広瀬明彦, 小縣昭夫: 多層カーボンナノチューブ(MWCNT)の発がんハザード同定とナノマテリアルのリスク評価におけるその意義, 化学生物総合管理学会特別講演会(東京), 2008.

中江大, 坂本義光, 前川昭彦, 今井清, 西村哲治, 広瀬明彦, 小縣昭夫: ラットにおける多層カーボンナノチューブの陰嚢腔内投与による中皮腫の誘発, 第67回日本癌学会学術総会(名古屋), 2008.

高橋美和, 吉田緑, 井上薫, 中江大, 西川秋佳: ラットを用いたカテキンの慢性毒性・発がん性試験, 第67回日本癌学会学術総会(名古屋), 2008.

芦野洋美, 山本行男, 島村眞里子: Antioxidants with inhibitory action of NF- κ B, suppress in vivo angiogenesis, 第67回日本癌学会学術総会(名古屋), 2008.

堀均, 宇都善浩, 永澤秀子, 島村眞里子, 稲山誠一, 上原至雅: Design of antiangiogenic hypoxic radiosensitizers containing a 2-aminomethylene-4-cyclopentene-1,3-dione moiety, 第67回日本癌学会学術総会(名古屋), 2008.

小縣昭夫, 坂本義光, 福森信隆, 斎藤育江, 栗田雅行, 大橋則雄, 矢口久美子, 中江大: 多層カーボンナノチューブ(MWCNT)の生体影響について, 大気環境学会関東支部講演会(東京), 2009.

中江大, 坂本義光, 福森信隆, 斎藤育江, 栗田雅行, 大橋則雄, 矢口久美子, 小縣昭夫: ナノ材料の医療への応用と

リスク評価, 社団法人 資源・素材学会平成 21 年度春季大会 (習志野), 2009.

中江大, 坂本義光, 前川昭彦, 今井清, 西村哲治, 広瀬明彦, 小縣昭夫: ラットにおける多層カーボンナノチューブによる中皮腫の誘発, 第 23 回発癌病理学会 (鳥羽), 2008.

坂本義光, 福森信隆, 上原眞一, 小縣昭夫, 中江大, 広瀬明彦, 西村哲治, 前川昭彦, 今井清: ラットにおける多層カーボンナノチューブによる中皮腫の誘発, 第 25 回日本毒性病理学会学術集会 (浜松), 2009.

多田幸恵, 矢野範男, 高橋博, 湯澤勝廣, 安藤弘, 久保喜一, 長澤明道, 大橋則雄, 小縣昭夫, 中江大: Fischer 344 ラットによる L-セリンの 90 日間反復経口投与毒性試験, 第 25 回日本毒性病理学会学術集会 (浜松), 2009.

中川好男, 鈴木俊也, 田山寿美子, 大橋則雄, 小縣昭夫: 違法ドラッグ・MDMA 及び類縁体のラット肝細胞に及ぼす毒性機序, 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

秋田朗子: 「プロテインキナーゼ C ϵ によるリン酸化制御と生理機能」, 東京都老人総合研究所 産学公連携プロテオーム共同研究センター 第 4 回 公開セミナー (東京), 2009.

佐藤かな子, 野中良一, 大橋則雄, 中江大, 小縣昭夫: 食品添加物・赤着色料によるアロマトーゼ活性阻害, 第 13 回 日本フードファクター学会 (東京), 2008 年 11 月.

佐藤かな子, 野中良一, 大橋則雄, 中江大, 小縣昭夫: 植物系ドラッグ・ダツラシードの神経伝達物質への影響, 日本薬学会第 129 年会 (京都), 2009.

大山謙一: ポリフェノール等のヒト胸膜培養細胞におけるクロシドライト DNA 障害に及ぼす影響, 第 49 回大気環境学会年会 (金沢), 2008.

小倉潔, 島村眞里子: マウスメラノーマ B16 細胞のがん転移能における Hgs/GEF-1 の影響, 第 17 回日本がん転移学会総会 (鹿児島), 2008.

立野玲子, 小倉潔, 島村眞里子, 後藤敏行: 培養細胞系における管腔形成能評価のための画像解析の検討, 第 17 回日本バイオイメージング学会学術集会 (千葉), 2008.

芦野洋美, 鈴木直子, 小野富男, 山本行男, 島村眞里子: カルパインの阻害による血管腔形成の制御, 第 81 回日本生化学会 (神戸), 2008.

[公衆衛生]

阿保満, 灘岡陽子, 梶原聡子, 神谷信行: 麻しん全数報告を定点報告に換算するための実用的集計方法の開発と応用, 日本公衆衛生学会第 67 回総会 (福岡), 2008.

池田一夫, 灘岡陽子, 倉科周介: 自殺の発生病理と人口構造, 第 60 回日本人口学会 (東京), 2008.

< 地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部研究会 > 第 23 回ウイルス研究部会 (川崎, 2008)

長島真美, 新開敬行, 尾形和恵, 原田幸子, 貞升健志, 仲真晶子, 矢野一好: 性感染症定点医療機関における HPV および HSV の検出状況.

永野美由紀, 林志直, 森功次, 秋場哲哉, 野口やよい, 仲真晶子, 矢野一好: 東京都における胃腸炎集団発生例のウイルス検索.

森功次, 林志直, 秋場哲哉, 永野美由紀, 野口やよい, 仲真晶子, 矢野一好: C 群ロタウイルスおよびアストロウイルス検査における Realtime-PCR 法導入に関する検討.

田部井由紀子, 長谷川道弥, 岩崎則子, 岡崎輝江, 仲真晶子, 矢野一好: デング熱診断における NS1 抗原検査の有用性について.

第 21 回細菌研究部会 (横浜, 2009)

千葉隆司, 高橋由美, 和宇慶朝昭, 猪又明子, 甲斐明美, 矢野一好: 真菌および放線菌による食品苦情事例とその解析.

小西典子: 検討課題「菌株の輸送について」東京都における菌株収集の状況について.

三宅啓文, 吉田勲, 向川純, 保坂三継, 矢野一好: 東京都健康安全研究センターにおける結核菌感染診断用インターフェロン γ 測定検査の実施状況と検査事例の傾向.

第 21 回理化学研究部会 (埼玉, 2009)

羽石奈穂子, 金子令子, 小林真理, 中里光男: 割り箸中の亜硫酸分析におけるイオンクロマトグラフ用溶離液の検討.

斎藤育江, 大貫文, 多田宇宏, 矢口久美子, 小縣昭夫, 松本重裕, 牧倫郎, 秋山和子, 野口浩和, 小口典久, 分部美香, 芦野研治: 理美容所における高濃度 VOC の傾向と発生源の推定.

大貫文, 齋藤育江, 矢口久美子, 小縣昭夫: 塗装作業および作業後の室内空气中揮発性有機化合物 (VOC) 濃度.

塩田寛子, 岸本清子, 佐藤裕美子, 中嶋順一, 浜野朋子, 森謙一郎, 荻野周三, 大木理恵子: 生薬製剤の崩壊試験に関する事例報告.

中村義昭, 寺島潔, 宮本道子, 伊藤弘一, 鈴木淳子, 浜野朋子, 荻野周三: 化粧品に含有されるタルク中のアスベスト.

**<衛生微生物技術協議会>
第 29 回研究会 (東京, 2008)**

新開敬行, 長島真美, 尾形和恵, 灘岡陽子, 貞升健志, 仲真晶子, 矢野一好: 東京都における鳥インフルエンザ検査システムの構築と実践.

**<公衆衛生情報研究協議会>
第 22 回研究会 (兵庫, 2009)**

灘岡陽子, 梶原聡子, 島村眞里子, 池田一夫, 阿保満, 神谷信行, 矢野一好: 東京都におけるインフルエンザ定点追加指定とサーベイランス結果への影響.

神谷信行, 灘岡陽子, 梶原聡子, 池田一夫, 阿保満, 矢野一好: 感染症発生動向調査 (定点把握対象疾患) Web 報告システム.

**<全国衛生化学技術協議会>
第 45 回年会 (佐賀, 2008)**

松本ひろ子, 平田恵子, 坂牧成恵, 萩野賀世, 牛山博文: 透析-HPLC によるネオテームを含む 8 種甘味料の系統的分析.

建部晴美, 船山恵市, 菊谷典久, 井部明広, 鎌田国広: 栄養機能食品の成分分析結果 (平成 15 年~平成 19 年).

林洋, 笹本剛生, 牛山慶子, 竹葉和江, 坂本美穂, 草野友子, 神田真軌, 永山敏廣: LC/MS/MS による畜水産食品中の殺虫剤ダイアジノンの分析.

田端節子, 岩崎由美子, 飯田憲司, 市川有二郎, 井部明広: 穀類のデオキシニバレールおよびフモニシン汚染.

岩崎由美子, 田端節子, 飯田憲司, 伊藤弘一, 佐々木英子, 根岸潤, 井部明広: シナモン含有食品中のクマリンの実態調査.

鈴木仁, 高橋美佐子, 長嶋真知子, 瀬戸隆子, 森謙一郎, 荻野周三: 無承認無許可医薬品中の抱水クロラルの分析.

鈴木仁, 高橋美佐子, 長嶋真知子, 瀬戸隆子, 森謙一郎, 荻野周三: 指定薬物の同定に用いる市販試薬の品質検査の重要性.

中嶋順一, 浜野朋子, 塩田寛子, 鈴木幸子, 蓑輪佳子, 門井秀郎, 守安貴子, 森謙一郎, 荻野周三: 中国製生薬製剤から検出された医薬品成分.

守安貴子, 蓑輪佳子, 門井秀郎, 中嶋順一, 森謙一郎, 荻野周三, 深谷晴彦, 志田保夫: ED 治療薬関連物質を含有する無承認無許可医薬品の検索と検出例 (チオキナピペリフィル).

鈴木幸子, 荒金真佐子, 吉澤政夫, 北川重美, 塩田寛子, 佐藤裕美子, 岸本清子, 森謙一郎, 荻野周三: 健康食品に配合される *Cassia* 属植物の鑑別.

吉澤政夫, 荒金真佐子, 鈴木幸子, 北川重美, 森謙一郎, 荻野周三: 大麻種子の発芽力を 1 時間で確認する方法.

横山敏郎, 前野智和, 菊地洋子, 山野辺秀夫, 浜野朋子, 荻野周三: 医療機器の試験事例と試験法の比較検討.

大久保智子, 栗田雅行, 矢口久美子: 建材中アスベストの X 線回折分析法の検討.

鈴木俊也, 宇佐美美穂子, 矢口久美子, 小縣昭夫: 水環境中の有機フッ素化合物—多摩川水系における存在実態.

**<全国薬事指導協議会>
第 45 回総会 (富山, 2008)**

岸本清子, 長嶋真知子, 高橋美佐子, 鈴木仁, 瀬戸隆子, 蓑輪佳子, 門井秀郎, 守安貴子, 佐藤裕美子, 塩田寛子, 中嶋順一, 森謙一郎, 荻野周三: 後発医薬品の品質確保—品質試験結果—.

**<東京都福祉保健医療学会>
平成 20 年度 (2008)**

三宅啓文, 吉田勲, 向川純, 保坂三継, 矢野一好: 東京都健康安全研究センターでの結核菌感染診断用インターフェロン γ 測定検査の実施状況 (平成 19 年度) と判定に注意を要した事例.

萩野賀世, 松本ひろ子, 牛山博文: 加工食品中の特定原材

料検査（小麦）における PCR 法の検討。

松本裕樹, 下村澄人: 輸入加工食品のアレルギー物質実態調査。

中島憲司, 神谷順子, 松本裕樹, 小川恭正, 小池長壽, 服部大, 高野伊知郎, 永山敏廣, 岩越景子: 青果用ダンボール箱の農薬等の残留実態調査。

畑中義博, 高橋久美子, 薩埵真二, 金子誠二, 平井昭彦, 井田美樹: 食肉製品製造施設における *Listeria monocytogenes* 汚染低減化のための効果的衛生管理法及び監視指導方法の検討。

古川恵, 田崎達明, 薩埵真二, 肝付康人, 根岸潤, 渋谷剛, 水取敦子, 高橋久美子, 佐々木英子, 服部大, 並木輝美, 力武廉太郎: 食品取扱事業者に対する自主管理推進の新たな試み～輸入事業者を中心として～。

赤瀬晴子, 野川泰寛, 木村智香子, 藤沼賢司, 木村圭介, 小沢秀樹: 高温で調理される複合調理食品のアクリルアミド含有実態調査。

松本美由紀, 根岸潤, 肝付康人, 古川恵, 菊谷典久, 船山恵市, 牛尾房雄: 大豆イソフラボンを含む健康食品の衛生管理に係る実態調査。

大友拓弥, 小川亮, 山田秀男, 村松哲: ビルにおける AED の保守管理に関する実態調査～23 区と多摩地域を対象としたアンケートの実施～。

< 国際学会など >

Shimajima Y., Obata H., Konishi N., Monma C., Uehara S., Nakama A., Kai A., Yano K.: A rapid method for estimating viable *Vibrio parahaemolyticus* cell counts using real-time PCR. 29th World Veterinary Congress (Vancouver, Canada) 2008. (第 29 回世界獣医大会, バンクーバー, カナダ) .

Monma C., Kaneko S., Obata H., Konishi N., Shimajima Y., Kai A., Yanagawa Y., Itoh T.: Characteristics of *Clostridium botulinum* type A isolated from patients and commercial foods in Tokyo. The 45th Interagency Botulism Research Coordinating Committee Meeting, Philadelphia (Pennsylvania USA), 2008.

(第 45 回ボツリヌス症研究会, ペンシルベニア州フィラデルフィア, 米国) .

Kai A., Konishi N., Obata H., Shimajima Y., Uehara S., Monma C., Yokoyama K., Takahashi M., Kawamura M., Yano K.:

Bacteriological and epidemiological aspects of a large outbreak caused by enterohemorrhagic *Escherichia coli* O157:H7 at a university in Tokyo. 43rd Annual Joint Panel Meeting, Cholera & Other Bacterial Enteric infections, US-Japan Cooperative Medical Science Program (Fukuoka, Japan) 2008. (コレラ・細菌性腸管感染症専門部会第 43 回日米医学協力会議, 福岡) .

Morita M., Izumiya H., Ohashi M., Arakawa E., Yamamoto S., G.B.Nair, M.Alam, Matsushita S., Yokoyama K., Kai A., Seto K., Nishimura K., Watanabe H.: Easy method for detection of the biotype specific cholera toxin B subunit of *Vibrio cholerae* O1 and dissemination of the altered El Tor strains. 43rd Annual Joint Panel Meeting, Cholera & Other Bacterial Enteric infections, US-Japan Cooperative Medical Science Program (Fukuoka, Japan) 2008. (コレラ・細菌性腸管感染症専門部会第 43 回日米医学協力会議, 福岡) .

Nakae D., Wanibuchi H., Konishi Y., Fukushima S.: Possible involvement of adaptation mechanisms in the achievement of an ineffective dose range for the carcinogenicity of genotoxic carcinogens. International Symposium on Genotoxic and carcinogenic Thresholds (Tokyo) 2008. (遺伝毒性発がん物質の閾値に関する国際シンポジウム, 東京) .

Tanaka T., Takahashi O., Oishi S., Ohashi N., Nakae D., Ogata A.: Effects of tartrazine on behavioral development in a three-generation toxicity study in mice. International Symposium on the Environmental Risks of Chemicals (Tokyo) 2008. (化学物質の環境リスクに関する国際シンポジウム, 東京) .

Satoh K., Nonaka R., Ohshima K., Ohashi N., Nakae D., Ogata A., Shimizu M., Oshio S., Takeda K.: The Effects of *In Utero* Exposure to a Migrant, 4, 4'-Butylidenebis (6-*t*-butyl-*m*-cresol), from Nitrile-butadiene Rubber Gloves on Monoamine Neurotransmitter in Rats. 第 11 回化学物質の内分泌かく乱作用に関する国際シンポジウム/第 7 回小児等の環境保健に関する国際シンポジウム (東京), 2008 年 12 月.

Yamamoto Y., Akita Y., Shimamura M., Sato H., Fukasaku S., Aritake K.: Changes in levels of prostaglandin D2 metabolite in cerebrospinal fluids of rheumatoid patients, Annual World Congress Human Proteome Organization (HUPO), 7th, (Amsterdam) 2008. (第 7 回ヒトプロテオーム学会世界大会, アムステルダム) .

Ashino H., Ono T., Shimamura M.: The role of N-acetyl-L-cysteine in the prevention of angiogenesis in vivo Korea-Japan Joint Symposium on Vascular Biology, 6th, (Kanazawa), 2008. (第 6 回血管生物学会日韓合同シンポジ

ウム, 金沢) .

Hattori J., Yoshida S., Gatanaga H., Kondo M., Sadamasa K., Shirasaka T., Mori H., Minami R., Sugiura W.: Increasing Prevalence of Drug-Resistance Mutations among Treatment-naive HIV-infected Patients in Japan from 2003 to

2007, 16th Conference on Retroviruses and Opportunistic Infections, Canada, 2009. (第16回 CROI, カナダ)
Tabata S., Iwasaki Y., Iida K., Ichikawa Y., Kimura K., Ibe A.: Patulin contamination in fruits and their products in Japan, China-Japan Pan Asia Pacific Mycology Forum, (Changchun) 2008. (日中菌学フォーラム, 長春, 中国) .